



西東京三田会

- News Letter 32 - (2024.4.1)

西東京三田会ホームページ <http://nishitokyo-mitakai.net/>

久しぶりの新年会

2024年、1月21日（日）に、田無・墨花居にて2020年1月以来となる新年会が開催されました。

西東京三田会の懇親会は、2022年12月に同じ会場にて「年忘れ懇親会」が実施されましたが、まだコロナの「第8波」と言われていたタイミングであり、マスク姿の方がほとんどであった印象がありました。今回は久しぶりにコロナ影響を気にせずに楽しめる懇親会となり、新年会としては、4年ぶりとなります。

御来賓の方は、西東京稲門会の緒方会長と原田幹事長、東村山三田会の田中幹事長、東久留米三田会の島崎幹事長、小平三田会の寺田副会長、といった方々です。

昨年11月の市民まつりにて新たに会員となった方などの自己紹介や、参加者全員に景品が当たる「くじ引き」で盛り上がったあと、「紺碧の空」&「若き血」をコロナ明けで初めて普段通りに歌うことができたことは、長く続いた我慢の時期から一歩抜け出せたような瞬間でした。まだまだ油断は禁物ではありますが、来年も新年会が予定通り実施されるよう努力していきたいと思っております。

行田健二 (H4 経)





開催されたサークル活動等をご紹介します

2024年1月以降に開催されたサークル活動等をご紹介します。
それぞれのサークルが活発に活動しています。
また、新しいサークルが生まれ活動を始めています
みなさん、気になる活動があったら要チェックですよ！



カラオケ会 1月9日

月例

本日の参加者は（集合写真左から：敬称略）大内俊、西野弘文、皆川雅紀、渡辺徹、牛島康朗、宮本敬一の6名でした。

なお渡辺徹さんはゲストで、練馬稲門会会員（カラオケ部会）です。

本日歌った楽曲は下記の42曲。途中、八代亜紀さん訃報のニュースが入り（ニュースに気づき）「舟唄」を歌って追悼しました。

You are my destiny、古都逍遙、Stand Alone、

思い出の木の下で、飛んでイスタンブール、

東京キッド、オホーツクの舟唄、星見酒、バス・

ストップ、異国の丘、粋な別れ、愛は一期一会、

あざやかな場面、思い出迷子、酔いどれ女の子流れ歌、ああモンテンルパの夜、ホテルサンセツ

ト、みずいろの手紙、君といつまでも、南風、島のブルース、残照、ありがとう、離愁・・・秋

から冬へ、海人恋唄、東京ナイトクラブ、中央フリーウェイ、かりそめの恋、夢で逢えたら、フ

ラワー、流星、銀座の恋の物語、龍飛崎、舟唄、月亮代表我的心、美唄の風、長崎の鐘、やっ

てみよう、長崎エレジー、兄弟船、早稲田大学校歌、若き血。



宮本敬一（S46工）



NEW!!

初の女子会が開催されました(^_^♪ 2月4日

2月4日(月)、西東京三田会会員所属の女性による、おしゃべり交流会(女子会)が開催されました。

かねてから、西東京三田会に所属する女性たちが楽しんで交流できる会を実施したい、と考えていたのですが、なかなかそのチャンスをつくれずにいました。

そんな中、コロナの猛威も穏やかになり、ようやくゆっくり仲間とも会える状況になってきたので、今回は、思い切ってこの女子会を企画、メールかはがきにて女子会員全員にお伝えしました。参加者は、稲月充子、井上京子、上杉さなゑ、上原好子、丑山佐枝子、片山啓子、福澤博美の7名でした。

当日は、西東京三田会カラオケ会でもおなじみの「カラオケ まねきねこ」田無駅前店にて集合。カラオケがメインではなく、カフェとして使用しました。飲み放題のソフトドリンクを頂きながら、女子トークに花が咲きました。初めましての会員同士もいたため、まずはそれぞれの自己紹介。途中で、カラオケタイムがはいる、その後、趣味や好きなこと、今後女子会でやってみたいこと、この会のネーミングはどうでしょうか?など、約2時間ほど、ざっくばらんにおしゃべりを楽しみました。「西東京三田会にこんなに素敵な女性会員がいらしたとは知らなかった。」「思い切って参加して本当に良かった。」「世代が違って、話すことがたくさんあり、すっかり友達になって、とても楽しかった。」「次はみんなで、おとなの遠足などもしてみたい」などなど、参加したメンバーからは、喜びの声が。近々の再会を誓い合い、笑顔で解散となりました。

今回は、急なご案内でしたので、予定が合わずご参加できなかった方もいらっしゃいました。役員会など、西東京三田会の本部とも連携をとるかたちで、今後は、女性会員がより楽しく交流できる催しを開催し、会員内での親睦を深めていきたいと考えております。

まだまだ考案中、検討中の女子会ですが、今後を楽しみにしていただきたいと思います!

どうぞよろしく願いいたします。

女子会発起人

稲月充子 (S42 法) 井上京子 (H27 文) 上杉さなゑ (S39 文) 丑山佐枝子 (H18 政院)





カラオケ会 2月13日

月例

2024年2月13日火曜日、いつものスナック JJ で16時～19時です。

今回の参加者は、大内俊、西野弘文、皆川雅紀、中野秀夫、宮本敬一の5名。

歌った楽曲は41曲。

<楽曲リスト (全41曲) >

ブルーライト横浜、ほんね、バス・ストップ、海峡、津軽三味線ひとり旅、演歌みたいな夜ですね、踊子、ソウル・ソウル・ソウル、乙女の祈り、母の鞆、大和心、東京の花売娘、

真夜中のギター、天使の誘惑、遠い世界に、ガード下の靴みがき、北の海明け、雨の慕情、情熱の薔薇、小さな竹の橋で、砂山、佐渡の恋唄、与作、昭和パラダイス、白い海峡、襟裳岬、叱らないで、この木なんの木、長良川艶歌、Scarborough Fair、街、竹田の子守唄、Day Dream Believer、風雪ながれ旅、The Long And Winding Road、夢で逢えたら、愛燦燦、残照、月亮代表我的心、法政大学校歌、塾歌(アカペラ)。

毎月第2火曜日16時～19時 田無スナック JJ、気軽に参加しましょう!!

宮本敬一 (S4 6工)



麻雀の会 2月18日

令和6年も麻雀会は健在です。

令和6年の最初の麻雀会は2月18日(日)

いつものPジャンで行われました。

参加者は、伊勢尚一、栗原幸雄、原護、宝井繁夫、樋口明朗、堀進、森茂樹、横田正満の8名。

優勝は横田正満、2位が森茂樹、3位堀進の各氏でした。



令和6年の2回目の麻雀会は4月21日です。さあ、また参集しましょう。

次回以降の開催は、4/21、6/23、8/25、10/20、12/15、の予定です。

樋口明朗 (S43 経)



散策の会「ぶらり秩父の街歩き」 2月25日

○残念なお天気

新装成った「散策の会」第2回が予定された2月25日は、低気圧の影響で朝から終日雨、降水確率80%、予想最高気温は東京で6度という予報だった。

計画では、「明らかな雨天」の場合は中止。「多少の雨」ならば所沢駅に集まったメンバーで話し合っ決めて、とある。

8時40分、西武線所沢駅に4人が集った。その判断は、全員一致で「長瀨迄足を延ばすのは無理としても、せっかく集まったのだから、せめて西武秩父までは行こう」というもの。いそいそと8時51分所沢駅発の特急に乗込んだ。

西武秩父駅に到着。まずは駅前の観光案内所に飛び込んで情報収集をする。もう、ぽつりぽつりと降り始めている。いつでも雨宿りができるように、秩父駅付近の街中をぶらぶら歩こう、ということになる。

○慈眼寺から秩父神社へ

まずは、西武秩父駅に最も近い札所である慈眼寺を訪れる。

50代の頃、職場の同僚から刺激を受け、家内と足掛け5年がかりで秩父34か所札所巡りを敢行した。その時に最初に訪れたのが確か13番札所慈眼寺だったはずだ。御朱印帳を見ると平成16年12月5日、とある。開祖して780年という古刹は「め」のお寺として、つとに有名。明治34年に再建されたという観音堂が素晴らしい。

慈眼寺から5分ほど歩いて、関東でも屈指の古社である秩父神社を参る。

ご本殿の前で記念写真撮影を、ということになり、通りがかりの女性にシャッターを押してもらったのだが、なんと息子さんが慶應だという。偶然とはいえ嬉しい秩父での出会いである。



○秩父まつり会館から蔵元へ

その後、秩父神社のすぐ脇にある秩父まつり会館に行く。

毎年12月2日・3日に行われる秩父夜祭。例年20万人以上の人が出るという。山車展示室には実物大の笠鉾と屋台が展示してあり、係員の解説を聞いてから3Dシアターで15分ほどの映像を見る。

秩父夜祭は、なぜよりによって厳寒の時期の「夜」のお祭りなのか？ふしぎに思い係員に尋ね



ると…。秩父神社に祀る女神さまは北斗七星の神様、武甲山に住む男神さまは水の神様、この二人は相思相愛の関係にあるが、逢引は年 1 回だけに限られる。北斗七星の女神さまとの逢瀬だから夜のお祭りだそうなの。

会館から 20 分ほど歩いて、最後の目的地である武甲正宗酒造へ向かう。

秩父の地酒と言えば「秩父錦」と「武甲正宗」が双璧だが、私が以前に見学した秩父錦の蔵元は移転して駅から遠くなった、との観光案内所での情報。徒歩でも行ける宝暦元年創業という武甲酒造柳田商店を訪れることとする。

4 人でどやどやと店内に入ると、気配を察してか店主らしき男性が現れ、早速、試飲と相成った。大吟醸、純米生酒、ひやおろし、本醸造等 6 種類が並ぶテーブル。プラスチックの猪口で試飲を開始する。無料である。制限時間は 5 分。どれも美味しいのは、試飲が

ただだったからではないので念のため。結果的には、これが呼び水になってしまったかもしれないが…。

○昼食を兼ねた一杯会

さて、そろそろ昼飯時となった。駅に戻る道中で適当な店を探してお昼にしようと、みぞれ混じりの雨の中、全員の年齢を積み上げるとゆうに 280 歳プラスαになるであろう 4 人の男たちは黙々と歩く。

途中に「大むら」という蕎麦屋があった。雰囲気よさそうな店構えである。

まずは生ビールで乾杯。雨の中、よく歩いたものだ。秩父名物わらじカツ、山菜漬けなどの酒肴が並ぶ。その後は、ごく自然に熱燗のお銚子に移る。冷えた身体に染みわたる地酒。話も弾む。そうか、皆、この熱燗の一杯を飲みたいがために、秩父行きを即断したのだな…と、はたと気づいた。

結局、蕎麦を手繰る前に㊟本の熱燗を空けることに…。

駅でしばらく時間調整をして、15 時 24 分西武秩父駅発のちちぶ 34 号にて帰路へ就く。

帰宅して万歩計をみると 8513 歩を記録していた。風呂の湯が冷えた身体に心地よかった。

幹事さん 2 名がわざわざ現地調査までしてくれたという、長瀨宝登山の蠟梅や長瀨溪谷の岩畳付近の散策は、次回のお楽しみにとっておくこととしよう。

今度こそ晴天でありますように…。

佐藤貢一 (S48 経)



天辻会員の展覧会 2月27日

当会会員でいらっしゃる天辻さんの展覧会（火洋会展）に伺ってまいりました。

場所は池袋西口 東京芸術劇場 B1 アトリエ イーストです。展覧会は2月27日から3月3日まで行われており、当会からも多くの会員の皆様が伺ったことと思います。

6名の方々と共同出展ですが、展示スペースのほぼ半数近くが天辻さんの作品で、いずれもとても素晴らしい作品ばかりでした。受付の女性と暫しお話ししましたが、天辻さんは近年精力的に作品を仕上げている由。これからも多くの作品を拝見できるものと嬉しく思いました。

当会には天辻さんをはじめ、優秀な作家の方々が多く、私達会員としても誇らしく思うものです。今後も、皆様の作品を拝見できる機会がありますことを愉しみにしております。

大内俊（S57 経院）



カラオケ会 3月12日

月例

今日も楽しいカラオケ会でした。5人参加で沢山歌えたので各自の新曲(新披露曲)が多かったのではないのでしょうか。季節柄、「卒業、春、3月」に因んだ曲も多いようでした。

楽曲リストは下記のとおりです(42曲でした)。

ちょっとイイ女、愛人、Tennessee Waltz、ほんね、花は咲く、初恋の人、昭和パラダイス、My Way、心の糸、旅立ちの日に、妻あるあなたに、思い出の九十九里浜、春一番、赤いハンカチ、卒業写真、母の鞆、まちぶせ、Blue Hawaii、春よ、来い、唇よ、熱く君を語れ、私祈ってます、YELL!、16番目の夏、万里の河、リンゴの木の下で、津軽三味線ひとり旅、悲しい酒、フランシーヌの場合、花のワルツ、ブルー、この木なんの木、銀座の恋の物語、砂山、赤いグラス、木綿のハンカチーフ、雨に咲く花、デュオしのび逢い、恋するフォーチュンクッキー、京都慕情、さざんかの宿、グッドバイ・マイ・ラブ、フラワー、月亮代表我的心

宮本敬一（S46 工）



友好団体との交流を紹介します

近隣の友好団体との交流の様子をお届けいたします。

東村山三田会クリスマス会 12月23日

昨年12月23日、東村山駅前の東村山ワンズタワー、サンパルコンベンションホールにおいて、東村山三田会クリスマス会が開催され、本会から篠崎・佐藤両名が参加しました。

本年4月の総会で創立10周年を迎えるという東村山三田会では、新年会に代えてクリスマス会を実施しています。

会長挨拶の後、まずは「デュオの会」上野姉妹によるクリスマスソングの演奏です。



これには、学生時代にワグネルソサエティーに所属し、卒業後もワグネルOB会で活躍されている紺田会長がバイオリン伴奏で加わり「サンタが街にやってくる」を皮切りに「諸人こぞりて」「荒野の果てに」「ジングルベル」からアンコール曲まで、息の合った見事な演奏を披露、熊谷副会長扮するサンタクロースも彩りを添え、会場はすっかりクリスマスモードになりました。



続いては、地元諏訪神社の氏子さんたちで形成される古典芸能保存会（会員73名）の皆さんの出番です。一転して勇壮な和太鼓とにぎやかなお囃子、そして軽快な笛や太鼓の音色に合わせ登場した獅子舞たちが会場を練り歩くと、子ども達ははじめ皆、大盛り上がり。少し早いお正月が来たようです。

ビンゴ大会では数々の豪華なプレゼントが用意され、進行係が番号を発表するたびに会場は一喜一憂。歓声あり、ため息あり、熱気に包まれました。

会は式次第も印刷されたプログラムもなく、催し物主体で余り形式ばらず、ゆったりとした時間が流れてゆきます。

締めは塾歌、若き血、慶應讃歌、そして都の西北。東村山稲門会の小森副会長は応援団OBだそうで、エール交換は迫力満点、その声量は今なお衰え知らずでした。

最後に記念撮影でお開きとなり、3時間余りの年の瀬の楽しいひと時はあっという間に過ぎました。東村山三田会の皆さま、ありがとうございました。

佐藤貢一（S48 経）写真提供 篠崎哲雄（S46 工）

西東京稲門会新年会 1月6日

2024年1月6日（土）保谷こもれびホール（小ホール）で西東京稲門会の新年会が開催されました。西東京三田会からも原会長、宝井副会長が来賓として参加させていただきました。

コロナが5類に移行したこともあり参会者総勢約70名を超える盛大な会となりました。



緒方会長挨拶にはじまり、鏡開き、女流講談師 桃川鶴女さんの講談、豪華くじ引き大会と盛り沢山な楽しいイベントが続きました。

ご参加の皆さんが終始笑顔で懇談されていたのが印象に残る新年会でした。



宝井繁夫（S52 商）

小平三田会新年会 1月13日

1月13日、当会の佐藤副会長と小平三田会の新年会に参加して参りました。

場所は小平三田会御用達のルネ小平地下ホール・地上ホールでは小朝師匠の独演会が行われるようで、多くの人の流れがあるなか、定刻より少々早く到着致しました。どうも例年以上に「前のめり」になっている自分に気付きます。

会場には、普段見掛けない小平の方々が多くいらっしゃり、受付で頂いた書類を見ると、出席者に「会員と塾員」の表記があるのに気付きます。一体これは？と思っていると、会員以外の方々にもお声掛けし、多くの方々に参集頂き、会のことをご理解頂くと共に、気に入って頂ければ「その場で入会」を目論まれているようです。西東京でも参考にさせて頂くことがあるようにも思います。

会は和やかに進行し、途中で漫才の林家マル子・カレー子親子による大変楽しい漫才が行われ会場が和みました。お二人とも防災士の資格をお持ちで、マル子さんは環境カウンセラーであることから、能登半島地震直後のイベントでもあり、防災に対する呼び掛けも併せて行われました。



大変珍しいお料理とお酒が並ぶ中、皆さん和気藹々とした時間が流れ、予定された時間をオーバーしての散会となりました。因みに、参加された塾員の7名が入会され、15人が検討中とのこと。同道された佐藤副会長ともども、小平方式に敬意を表しつつ帰路につきました。

大内俊（S57 経院）



東久留米三田会銀杏寄席 1月27日

1月27日成美教育文化会館で開催された東久留米三田会主催の銀杏寄席を鑑賞しました。西東京三田会からは高橋信一さん、原洋一さん、井上京子さん、および宮本が聴きに行きました。

駒与志さんが噺の前の口上で、銀杏寄席は10回目を迎えるが今回が最終回である旨話されました。理由は主催者側の大人の事情とのみ述べられました。

なお演目は以下のとおり

- 1) 第15代恋生 開口一番・洒落番頭
- 2) 茶利亭夜楽 幫間腹
- 3) 戎家お三治 時そば
- 4) 金網亭るん馬 宮戸川 (お花半七)
- 5) 金網亭るん馬 真田小僧
- 6) 原亭駒与志 らくだ

参考WEB <http://komayoshi.amsstudio.jp/018.html>



金網亭るん馬



金網亭るん馬



原亭駒与志

宮本敬一 (S46 工) 写真提供 原洋一 (S46 法)



今後のサークル活動等をご紹介します

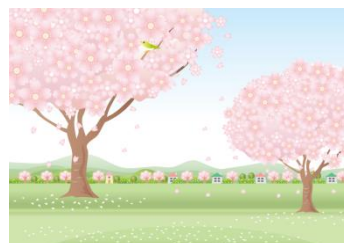
今後予定されているサークル活動等をご紹介します。
興味がある活動はありましたか？面白そうだなというものがありましたらぜひお越しください。
どの活動も気軽に参加できるものばかりです。みんなで春を楽しみましょう!!

お花見会のお誘い 4月7日

ようやく訪れた春を楽しむため「お花見会」を開催いたします。一般的にお花見といえばソメイヨシノですが、趣向をかえてヤマザクラ、サトザクラ、オオシマザクラなどのかわり桜を楽しみたいと思います。また、会員間の友好を深めるため西東京三田会単独での開催といたします。近くに遊具などもあり、小さなお子さんも楽しめると思います。ぜひ、ご家族みなさんでご参加ください。お子様連れ、初参加も大歓迎です。

日 時：2023年4月7日（日）11：30～15：00（雨天の場合は翌週の14日に開催）
途中参加や退出も自由です

場 所：都立 小金井公園「桜の園 なかよし広場付近」
（公園最西端 小金井街道側の西口からすぐ）
*場所の目安は、下の地図の赤丸のあたりです。
「西東京三田会の幟旗」を目印にお集まりください





小金井公園へのアクセスは下記公式ホームページをご覧ください

[小金井公園 | 公園へ行こう!](#)

参加費：大 人 1,500 円 (20 歳以上)
 こども 1,000 円 (小学生~20 歳未満)
 乳幼児、未就学児は無料
 軽食 (オードブル)・飲み物 1 本 付き
 食べ物、飲み物のお持ち込みも歓迎いたします



注意事項 ・小学生未満の方の食べ物、飲み物をご用意いたしません
 お手数ですが、各自でご準備くださいますようお願いいたします
 ・ゴミは各自でお持ち帰りいただきますようご協力をお願いいたします
 (ゴミ袋を用意します)

参加申込 **4月2日までに下記項目をこちらのメールへのごお知らせ**ください

西東京三田会 nishitokyo.mitakai@gmail.com

- ・代表者氏名
- ・参加人数 記載例 : 大人 ○人、こども ○人

*当日は可能な限り公共交通機関でお越しください (自転車の飲酒運転は危険です)
 飲酒される方は自転車等ではなく公共交通機関でお越しください。

連絡先 西東京三田会 nishitokyo.mitakai@gmail.com
 お花見会担当：横田 yokokinhello@yahoo.co.jp 070-4069-8946
 当日の連絡は お花見会担当：横田 070-4069-8946 へご連絡ください

カラオケ会 4月9日

月例

定例のカラオケ会が開催されます。
 初参加のみなさまの参加もお待ちしております。
 みなさんと一緒に楽しいひとときを過ごしましょう!

日時：4月9日 (火) 16時から19時まで
 場所：スナック「JJ」
 会費：3,000円



参加希望の方は[西東京三田会事務局](#)にお伝えください。
 連絡先：西東京三田会事務局 nishitokyo.mitakai@gmail.com



麻雀の会 4月21日

令和6年2回目の麻雀の会です。
会場はいつものPジャンで開催する予定です。
参加希望の方は幹事へご連絡ください。



日時：4月21日（日）13時から17時ころまで
場所：西東京郵便局北側の「Pジャン」

幹事：栗原幸雄、原護 090-8807-7508 hara.mamoru08414@gmail.com

竹の子掘りを楽しむ会 4月28日

昨年に続きまして東久留米三田会の野崎陽一さんのお宅の竹林をお借りしての「竹の子掘りを楽しむ会」を開催致します。農園の規模の関係で、参加者は当三田会の会員とその家族に限らせていただきます。先着10組、総参加者20名までとします。定員に達し次第締切りとさせていただきます。

記

日時：令和6年4月28日（日）13時半受付、14時開会、今回も食事・懇親会は行いません。

食事は済まされてからお出で下さい。

場所：野崎陽一邸（ブルーベリー摘みと同じです）

東久留米市柳窪1-5-46（車の駐車可）、西武バスの柳窪一丁目下車、新青梅街道方面に徒歩5分、右に入った奥です。

会費：なし

道具：シャベル、スコップ、軍手等持参ください。

竹の子代金：1本200円を頂戴します。野崎さんへお支払いします。



申込：4月20日中まで、高橋信一（042-467-0277）、

あるいは shin123@jcom.home.ne.jp に参加会員名と家族の人数をお知らせ下さい。

当日の連絡は 090-6515-8460 近くまで来て場所が分からない時は電話下さい。

小雨決行：中止の場合は三田会ホームページでアナウンスいたします。



総会・懇親会が開催されます 5月11日

令和6年度の総会を開催いたします。

総会、飲食を伴う懇親会のどちらも昨年同様、対面での開催となりますので、久しぶりに顔を合わせる仲間と旧交を温める機会となります。初めて参加なさる方には、西東京三田会の雰囲気を感じていただく機会となることでしょう。

みなさまの出席をお待ちしております。

会員のみなさまには4月中旬頃までに総会・懇親会の開催に関するご案内をするとともに、出欠確認いたしますので、お返事くださいますようお願いいたします。

総会・懇親会の日程は以下の通りです。

【総会】

- ・日程：令和6年5月11日（土）午後4時から（午後3時30分から受け付け開始予定）
- ・会場：コール田無 イベントルームA

【懇親会】

- ・日程：令和6年5月11日（土）午後5時から
- ・会場：コール田無 イベントルームA・B

【注】当日、年度会費および懇親会費をお預かりいたします。ご準備をお願いいたします。

年度会費：3,000円

懇親会費：5,000円（懇親会出席者のみ）

*コール田無

西東京市田無町3-7-2

田無駅北口徒歩7分





ゴルフ会 5月22日

第38回 西東京三田会ゴルフ会（第4回 慶早校友ゴルフ会）案内

1. 日時 2023年5月22日（水）、受付に **8:15** までにお越しください。
2. コース 飯能グリーンカントリークラブ

〒357-0068 飯能市久須美 292 ☎042-973-0005

注. ご来場の際はジャケットの着用をお願い致します。

またセルフバックは使用禁止となっています。



3. スタート時間 アウト、イン第1組 **9:03** 同時スタート 各4組、計8組
4. 会費 3,500円…朝、受付カウンターでいただきます。パーティ費及び賞品代含み。
(パーティは軽食・ソフトドリンクとし、アルコール類はご自身で精算)
5. プレイ費用（各自精算） 16,720円（プレイ代、キャディ・乗用カート付、ランチ代別）
○70歳以上の方は、利用税免除（1,100円）があります。

6. 競技方法 新ペリア（ダブルペリア）方式
7. 賞品 ○優勝 準優勝 3・4・5・7・10・15・20・25・30位 BB賞
○ニアピン賞（全ショートホール） ○ベストグロ賞 他

8. 組合せ 事前に参加予定者にメールで配布、また当日受付時に配布

9. アクセス ○電車…西武池袋線飯能駅からクラブバスでお越しください。
クラブバス出発時間（飯能駅南口、所要時間15分）7:10 7:45
クラブハウス出発 16:40 17:10

○車…圏央道狭山日高インターで降りてから10kmです

また新青梅街道を西進、箱根ヶ崎西を右折、国道16号から左折し、岩蔵街道に行く方法もあります

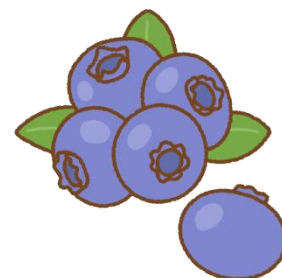
10. 申込み締切日： 4月30日（火）

参加申込み、お問い合わせは下記にて森までお願いします。

e-mail: smah-mori@nifty.com 携帯:090-8963-1893

なお当日大雨予報等がある場合、2日前の夕刻、幹事から参加者に連絡を致します
連絡がない場合には実施する前提となりますので宜しくお願い致します
問い合わせ先：西東京三田会 ゴルフ会幹事 宝井（090-2414-5454）

ブルーベリー摘み会 7月28日



詳細が決まり次第、幹事からご案内いたします。

毎年大人気の企画です。

日程をあけておいてください。



西東京三田会 会員インタビュー

地域小学校の卒業式に来賓として参加

今回の塾員対談は、長年地域活動、取り分け学校関連の諸活動に従事され、地域の小学校の卒業式に来賓として出席された西野弘文さんをお招きし、卒業式直後のホットなお話をご紹介します。

西野さんは長年地域の小学校で教育支援のボランティアをされており、子供達からも大変慕われていらっしゃるようです。そうした子供達が卒業される姿を目にすると、様々な感情が交錯するのではないのでしょうか。時、まさに卒業シーズンです。お話を伺う前から、卒業ソングが頭の中で鳴り響いています。

編集委員：卒業式ご出席ご苦勞様でした。お忙しい中、お時間を頂戴し申し訳ありません。本日は宜しくお願い致します。

西野さん：久し振りに卒業式に出席し、まだその余韻が冷めやらぬ気持ちです。今回の卒業生は、在学中の半分以上の4年間はコロナ禍の中での学校生活で制約が多い中、頑張ってくれたという思いが強いです。

編集委員：久し振りの卒業式出席だったのですね、ご苦勞様でした。一般の方が、地元の学校の卒業式の来賓には、簡単になれるものではないと思うのですが、西野さんはどのような経緯で、卒業式の来賓としてご招待されたのでしょうか。

西野さん：実は、2005年に近所の小平第七小学校の保護者でPTA会長をされている方から、学校教育支援ボランティアネット立ち上げの話があり、私自身退職後は地域貢献をしようと考えていたこともあり、学校前の交差点で朝の登校見守り活動から始めた経緯があります。

編集委員：そんな前から関与されていたのですね。20年近くになりますね。

西野さん：そうなんです。その後、図書室の本の整理、花壇の整地、手洗い場の清掃、校外学習の安全見守り、授業支援などのボランティア活動をしてきました。

2007年に東京都教育委員会の放課後子供教室推進事業の実施に伴い、副校長から放課後に子供達の居場所作りを依頼され、保護者や地域のボランティア仲間と「放課後子ども教室」を立ち上



げているいろいろな「居場所ひろば」を作りました。

編集委員：そういったお仕事は、学校だけでは決して出来ない重要なものですね。取り分け「放課後子ども教室」はまさしく学校の延長ですね。

西野さん：そうなんです。まなびひろば（宿題と復習プリント）、英語ひろば、折り紙ひろば、けん玉ひろば、かがく工作、グリーンクラブ（花を使って作品作り）、アートクラブ（アート作品作り）、よさこい、吹奏楽、ミニバスケットなど様々な活動を通じて学習習慣作りと健全育成に取り組み、毎年延 400 人以上の子ども達が参加しました。



編集委員：お話を伺っているだけで楽しさが伝わってきます。お子さん達が喜んで参加されていたのですね。取り分け、現在では両親共働きのご家庭が多く、私達の時代には、「鍵っ子」と言われる子供が多かったと思います。

西野さん：仰る通りです。でも、2019 年の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い活動を休止し、2023 年から再開しましたが、4 年間の空白期間に校長、副校長、先生方も代わってしまい、仕切り直しを余儀なくされた状況です。

編集委員：その 4 年間は子ども達も親御さんもお苦労されたことでしょうね。そうした処にもコロナ禍の歪みが出てしまいましたね。

そもそも西野さんに学校教育支援のボランティアネット立ち上げのご相談があった訳ですが、それまでにも西野さんは地域でボランティア活動をされていたのですか。

西野さん：決してそんなことはありません。学校教育支援ボランティアネットのお話が始まりのようです。しかしその後、多摩六都科学館でのボランティアや、小平市青少年対策七小地区委員会の副会長やら、第七小学校学校経営協議会委員や第六中学校学校経営協力者を務めました。小平三田会の設立メンバーでもありました。

編集委員：確かに小平三田会設立の折にはご尽力されました。その節はありがとうございました。

西野さん：小平市の公募委員の活動も致しました。その中には、事業仕分委員会や市の灯りまつり実行委員会、そして空き家対策等計画策定委員会の仕事もありました。

編集委員：本当に地域に関して、様々なご活動をされていていらっしゃるのですね。

ところで、本日の卒業式は久しぶりと仰ってましたが、それはコロナ禍の影響ということでしょうか。





西野さん：仰る通り、コロナウィルス感染症の影響で、ここ数年の卒業式は保護者 1 名制限や来賓を教育委員会関係者に限定したものでした。私自身来賓として招待されたのは久しぶりなのです。

編集委員：西野さんにとって、これまで出られた卒業式で、最も印象に残るものはどんな卒業式でしたか。

西野さん：卒業生が壇上で、一年生の時から六年間の行事の思い出と卒業に当たり感謝の言葉を、全員が一言ずつ掛け合うように語るものがありました。それがとても感動的でした。

編集委員：一言ずつと謂えども、卒業生全員が発言するというのは素敵ですね。きっと卒業生自身も良い思い出になったことでしょうね。

西野さん：思い出というより、最近では卒業式に出席する子ども達の服装が目を惹きます。男子はスーツにネクタイ姿、女子は袴姿です。自分達の頃の卒業式とは大きく異なっていますね。

編集委員：なんだか大学の卒業式のようにも感じますね。驚きです。服装がそれほど変わったのであれば、卒業ソングも様変わりしたのでしょうか。私達の頃は、「揚げば尊し」が不動の地位を誇っていましたが。

西野さん：そうですね、確かに以前は「揚げば尊し」が定番でしたが、私の学校では「旅立ちの日に」が主流です。

編集委員：確か、秩父の影森中学校の校長先生と音楽担当の先生が作られた曲ですよ。



西野さん：そうです。今年は生徒達の練習の成果で、とても素晴らしいコーラスが聴けました。

編集委員：お話を伺っている中で、恐らく西野さんは地元の学校と密接なお付き合いをされてきたのだと思います。卒業生の中で、印象に残っているお子さんはいらっしゃいますか？

西野さん：学校以外でも、街中でばったり卒業生に逢うことがあります。そうした時、「先生」と声掛けされることがあります。また、放課後のボランティアの最中に高校、大学の進学の話をしてくれたり、結婚の報告をしに来てくれる方々があります。そうしたことが、私にとって何よりの喜びです。

編集委員：とても素敵なお話ですね。それも西野さんが地域の為、学校の為に頑張ってきた賜物だと思います。

それでは最後に、西野さんから本日の卒業生達に贈る言葉をお願い致します。



西野さん：本日の卒業生は、6年間の小学校生活の内4年間はコロナ禍であり、何かと制約が多かった生活を余儀なくされました。それだけ考えても、子ども達は本当に良く頑張ったと思います。

「よく頑張ったね！卒業おめでとう」の一言ですが、子ども達や保護者から「お世話になりました。ありがとうございました。」と言われると胸が熱くなります。先程、一部の保護者から卒業生の記念写真が送られてきました。心から嬉しく思います。



編集委員：西野さん、お忙しい中対談のお時間を作って頂き、本当に有難うございました。心から感謝申し上げます。

【対談を終えて】

改めて西野さんが地域社会のために幅広くボランティア活動をしていることを知りました。学校は決して教員と生徒からだけで成り立っているものではないと感じました。同時に、西野さんの生徒を見遣る優しい眼差しを感じた次第です。

本日（3月25日）の卒業式には桜の花は間に合いませんでしたが、卒業生の心の中には、満開の桜が咲き誇っているものと思います。西野さんの日々のご努力に敬意を表すると同時に、私達も地域のことに関心を寄せていきたいと思うものです。





澤田 理絵 & みながわちかこ

モーニングコンサート 鑑賞のお薦め

会員

寄稿

第20回の「澤田 理絵 & みながわちかこ モーニングコンサート」は、3月28日いつものように爽やかな気持ちを私たち観客にたっぷり味わわせてくれた。

澤田理絵さん（ソプラノ）、みながわちかこさん（作曲・編曲・ピアノ）のお二人による月に1回平日午前中1時間のコンサートだ。偶数月にはフルート・ヴァイオリンなど様々な楽器奏者やメゾソプラノのソリストなど多彩なゲストを迎え各回ごとの新鮮さも保たれている。

みながわちかこさんは当会の会員である皆川雅紀（S49政）さんのお嬢様。国立音大の作曲学科のご卒業で、作曲・編曲・ピアノ伴奏はもちろんのこと、何事も音楽的に捉えて、数々のコンサート企画やプロデュースも手がけてきておられるようだ。当三田会との関係においても、総会・懇親会の折、複数回に及んでの相良おり絵さんや三木れい子さんとのデュオで席を和ませていただいていた。近時では令和元年度の総会・懇親会の折の澤田理絵さんとのコンビでやはり席を飾っていただいたことで記憶に残っておられる方も多いと思う。



「澤田理絵&みながわちかこモーニングコンサート」は2022年8月に開始された。

各回 AM10:15 開演（10:00 開場） 11:15 終演予定、場所は JR 武蔵境駅スグの武蔵野スイングホール、チケットは全席自由席で各回1500円というのが概要。

とにかく「芸術オンチ人間」たる私でさえ鑑賞の回を重ねてしまう、結局20回皆勤になってしまった、そういう不思議な魅力をもったコンサートだ。人によっては仕事本職上の立場などや音楽芸術に対峙する姿勢とか感覚などが異なると思うが、こと私にとっては、

・平日の午前中は適切であること、・一時間前後であることは長すぎるのは閉口な私にはちょうどいいこと、・場所がバス1本で往来でき帰宅後昼食できること、・プログラム内容がクラシックのみならず童謡・唱歌・弾語り等であって、キラキラ感のあるテレビ番組とは違って好感、・全席自由席で重苦しさ堅苦しさなく気軽、等々音楽オンチな私でも忌避する理由が全くない。

眼が不自由な澤田理絵さん、1年前の2月で前の盲導犬と別れ、今のルーちゃんをこの2月公演では出会いから1年の節目にあたるということでステージに同席させていてほほえましかったが、この澤田さん、ローマで研鑽、ヨーロッパ各地で多数のコンサートに出演という経歴からもさもありなんとはいえるがイタリア音楽、ドイツ・フランス音楽などを当地の言語ではつらつと歌う、素晴らしい。





みながわちかこさん、彼女のチャレンジコーナーがまたいつも感動だ、凄い。会場入場時に「みながわちかこ即興リクエストメドレー用」という聞きたい曲を書くカードが渡されるが、そのカードがプログラム上では彼女のコーナーの直前にスタッフにより回収される。20曲以上は集まっているだろう、それを彼女は、会場に紹介するや、やにわに切れ目なしのメドレーでピアノ演奏してしまうのだ。この筋の業界に疎い私にはもう圧巻としか言いようがなかった。

この「澤田理絵&みながわちかこモーニングコンサート」、毎月の開催はこの3月28日で終了し、今後3ヶ月に一度の開催にリニューアルする由である。20回鑑賞してきてその趣旨は十分理解できる。準備・精進を重ねて引続き私たちに「爽やかさ」を届けて欲しい。

みなさん、お薦めします。次回6月25日、武蔵野スイングホールに行きましょう！

樋口明朗 (S43 経)

編集後記

ニュースレター32号をお読みいただきありがとうございました。

今号は、4年ぶりとなる西東京三田会の新年会をはじめ、様々なイベントやサークル活動の報告が多数集まりました。どれも大いに盛り上がり、会員同士の交流や親睦が深まる素敵な機会となり、とても嬉しく思っております。

男性会員が多い西東京三田会ですが、今回は女性会員による初の女子会が開催されるなど、新たな場も誕生しました。

会員の皆様のご意見、ご希望を最大限生かして、今後のイベントやサークル活動を実施していきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

4月はお花見会、竹の子掘りを楽しむ会などの春を満喫できるイベントが続きます。ニュースレター編集委員のメンバーも、興味にあわせて参加して参りますので、どうぞ読者の皆様も、お気軽に楽しみにいらしてください。初参加の方、大歓迎です！ ご参加をお待ちしております。

編集委員

井上京子、大内俊、行田健二、高橋幸三、森茂樹、横田均、丑山佐枝子

令和6年3月31日

